

休耕地にナバナの種を蒔きました（9/29）

今年度も若手の会を中心に、熊本県の補助事業「里モンプロジェクト」を使って景観整備の活動に取り組んでいます。

新公民館・公園に隣接している永田文代さんの休耕地を使用させていただき、荒木一さんから提供頂いたナバナの種を蒔きました。

きちんと咲けば、来年3月頃に満開を迎えます。新しい公園で地区の皆さんとお花見ができればと考えています。

現在工事で近づくのは危険ですが、道が整備されたら是非見に行ってみてください。



【里モンプロジェクトとは？】

熊本県による事業で、農林水産業や農山漁村の多面性をさらに発揮させるため、「景観」、「文化コミュニティ」、「地元産業」といった観点で地域の取り組みを促し、持続可能で元氣な農山漁村を目指すものです。

抜粋：くもと農人 PJHP



@国土地理院

秋の区役と中山間の区役が行われました

9月15日（日）に秋の区役、9月29日（日）には中山間の区役がありました。皆さんお疲れ様でした。右の写真は区役の後の様子です。シボウさん近くの斜面で彼岸花が綺麗に残っていました。



【中山間地域等直接支払制度（中山間）とは？】

農業の生産条件が不利な地域における農業生産活動を継続するため、国及び地方自治体が支援を行う制度です。

耕作放棄の発生防止活動、水路・農道等の管理活動（泥上げ、草刈り等）、農業生産性の向上や女性・若者等の参画を得た取組などを行うことで交付を受けることができます。

抜粋：農林水産省 HP

ふれあい祭りに風当地区で出店します！

11月17日（日）10時から14時半に西原中学校グラウンドで行われるふれあい祭りで風当マルシェの第1回目として、風当ブースを出店します。「LE VENT」（高橋妙子さん）の小物雑貨や風当の専業農家さんの農作物、マシュマロクッキー、かざあてTシャツなどを販売する予定です。是非お立ち寄りください。



昨年のふれあい祭り



「LE VENT」の雑貨



風当の農家の農作物



風当Tシャツ



風当手ぬぐい

風当だより



【地区別版】第10号 令和元年11月発行

いよいよ葉が色づき、秋がやってきました。大切畑大橋が開通し、萌の里のにぎわいも少しずつ戻ってきたように思います。11月号ではお宅再建インタビューや休耕地活用、区役、ふれあい祭りなどについてお伝えします。工事状況も裏面をご確認ください。

大切畑大橋がついに開通しました（9/14）

9月14日（土）に大切畑大橋が開通しました！当日は柿本さん宅の敷地に大きなテントが張られ、蒲島知事などを迎えた式典が盛大に執り行われました。

開通と同時に地震前の交通量へ戻ってきています。県道28号線を通る際は十分お気を付けください。



お宅再建インタビュー



～桂悦朗さん宅編～



擁壁工事が完了し、再建されるお宅にこれまでの道のりやこれからの展望などを伺うコーナーです。第1回は桂悦朗さんです。

【再建スケジュール】

9月下旬 着工・基礎工事
10月下旬 土台工事
11月4日 上棟式（餅投げ）
来年2～3月 引き渡し（予定）

自宅は全壊で、擁壁も崩れていたし、特に妻と息子は地震への恐怖を感じていたため、その当時は万徳地区への移転を考えていました。被災した風当地区の人達も当初は集団移転を考えておられましたが、徐々に風当での再建を検討する人達も増えてきたため、「私達も地域を出るわけにはいかん」と思うようになり

ました。加えて、補助事業で擁壁を直してもらえることになったので、「よし、もう一回地域づくりをしよう」と風当に再建することを決心して、平成28年9月に3期目の選挙に出ました。それまでの約5か月間は随分葛藤がありました。でも復興を進めていくためには地域の要望を行政に伝える議員が必要だと思い、出馬しました。なんとか前向きに復興が進んできているので、今は少しホッとしています。

でもやっぱりみなし仮設のアパートは心が休まりません。特に夜はここに来てから眠れなくなりました。家にいるのも嫌だから頻りに工事現場を見に行ったりしています。再建した家に帰るのが待ち遠しいです。再建後は、孫たちの健康を考えて家庭菜園で無農薬野菜でも作ろうかなと思っています。

今、風当は高齢化が進んでいて、若い人達が入ってきやすい地域にしていこう必要があると思っています。地震後、少しずつ集落全体の意識が変わり、上の世代の意見ばかりでなく、若手がやりたいことを上の世代が支える状況ができつつあります。若い人たちが地域づくりを一生懸命やってくれていてありがたいです。今後も若手が「こういう風にしたいんですけど」と言った時、上の世代が「よかよか」と進めていける環境づくりをしていきたいと思っています。